



私達の身の回りの多くのモノは、産業用ロボットによって作られている事は想像できますよね。この産業用ロボットは動力源に空気を利用している事をご存じでしょうか。第7回の上伊那の仕事とくらしの特集は、この空気の利用した製品を開発、製造、販売している株式会社日本ピスコです。

日本ピスコは空気圧機器メーカーで、製品点数は何と2万点超。そして、その製品は、自動車、食品、半導体の製造工程、農業や漁業などありとあらゆる業界で使用されています。今後、更に必要になるであろう生産の自動化、省力化にピスコの製品が役立つています。

安心安全でエコな空気。

「ピスコでは産業用ロボットなどを動かす動力源の“圧縮空気”を利用した製品を製造しています。製品は主に工場などで使用されますが、実は身近なところにも使用されているんですよ。例えば、電車の自動ドアの開閉、自動車の洗車機、最近ではコンビニのコーヒーマシンなどでも使われていますよ。」と話すのは経営管理部の福澤さん。更に、「産業用ロボットは電気で動いているイメージがあると思いますが、空気で動いているロボットもたくさんあるんですよ。空気は無害なので、作業中にも安全で、使用した空気は大気に戻すので環境にも負荷を与えませんよ。」と話します。

環境に優しいのは製品だけではなく、ピスコの製品は特定の業界で使用されるものではなく、個人から幅広い業界のさまざまなところで使用されています。これからも更に使用される所が増えることが強みかな」と素敵な笑顔で話してくれました。



伊那第二工場の発電量



【経営管理部】福澤さん

文系の私でも製造業で。

「最初は文系の私が役に立ってることってあるのかなと正直不安でした。」と話し出したのは知財管理課の佐野さん。

佐野さんは県内の短期大学に進学後、会社説明会でピスコに出会い、相談をする中で働くイメージが持てたことが入社を決め手になりました。

佐野さんは「人事の方と話をする中で、男女比が6対4と多くの女性が活躍していること、研修体制がしっかりしていて、入社してから学べること、産休育休などの福利厚生が充実していることなどが不安を払拭しました。」と話します。

現在はお客様に提供する製品の図面とモデルの作成が担当で「お客様にも分かりやすく、かつ製品の権利を保持することが

ものづくりへの思いを胸にイターン。

岐阜県出身の酒井さんは「ものづくりに携わりたい」という思いを胸に上伊那にイターンして4年目です。

「実は高校生のときに春の高校伊那駅伝で伊那路を走り、地域の人の温かい応援とアルプスの美しい景色が記憶に残りました。」と話します。

仕事については「製品技術課で金型更新や製品の設計変更業務を担当しています。元々、文系大学出身ですが、ピスコでは上司や先輩方がサポート

【入社4年目】酒井さん



【入社4年目】佐野さん



必要です。お客様と社員、両方を支える仕事ができていることがとてもやりがいです。」と話してくれました。

休日は4歳から通っているダンススタジオで講師をしたり、イベントに出演したりしているそうです。

「コロナ禍が落ち着いたらイベントを通じて自分の好きなダンスを広めていきたいです。そこで出会った人たちと刺激を与え合えたらうれしい。」と話してくれました。



上伊那の暮らしについて聞くと「非常に満足です。生活に必要なものは近くでそろいますし、とにかく自然が豊かでアウトドアが好きな自分にとって最高の環境です。登山が趣味なのですが、上伊那から見える山はほとんど登っていると思います（笑）」と話す酒井さんです。

最近山を走るトレイルランにもハマっており、「今後は100マイルのレースにも挑戦したいです。」と意気込みを話してくれました。

最後に、上伊那の満足度は何点ですかと聞いたところ「120点です。」と笑いながら話してくれた酒井さん



株式会社日本ピスコの取材を終えて

今回取材させていただいたお二人とも文系出身でしたが、文系でも地元の製造業でやりがいを感じて働けるということが紙面を通じて読者の皆さまに伝わっていればうれしいです。また、休日もダンスや登山、マラソンなど上伊那でプライベートを満喫しており、しっかりリフレッシュできている様子が印象的でした。



LINE登録
上伊那の就職情報
も発信しています。